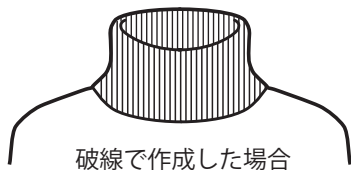


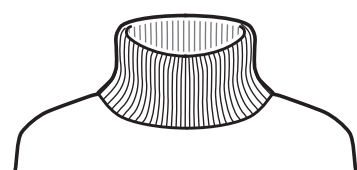
Illustrator で絵型を描く。

湾曲したリブを描く。(ブレンドツール)

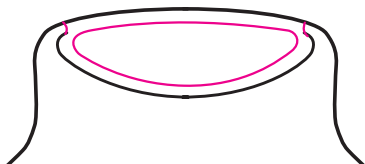
左の絵型の様な破線で代用可能な直線的なリブの表現は覚えてしまえば、比較的簡単なテクニックであるが下の絵型の様なタートルネックの襟等は直線的な表現しか出来ない破線では不自然なものになってしまう。



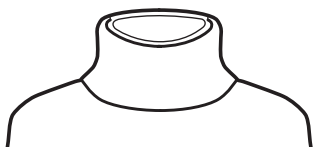
出来ればこの様に描きたいものだ！



湾曲した形状では、破線を使ってリブは描けない。そこで使用するのがブレンドツールとなる。
●作成方法はまず、先程と同様にレイヤーを複製しライブペイントで着色する。(この時複製元レイヤーは必ず非表示にする)
ただし、テクニック的に、敢えて隙間を開けて描いた場合はライブペイントはその隙間を認識してくれないので隙間を最初に埋めておく。分かりやすくピンクの線で描いたが実際にこの線は消してしまうので絵型と同色で描いたほうが良い。



また、タートルの裏側の生地の部分も全体に線が入ると見えにくいイラストになるので内側に線を入れてみた。



ライブペイントで着色する。

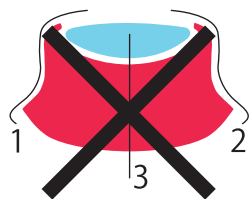


ライブペイントを拡張した後、右クリックで2度グループ解除を行い、絵型の線描きの一部を選択し
選択→共通→カラー線
全ての線を選択した後 Delete する。

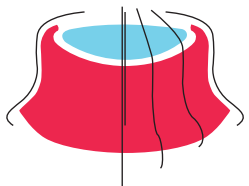


リブを入れる塗の部分だけが残る。

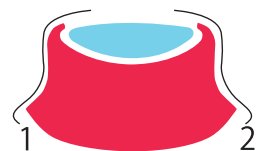
襟の形状に合わせ3本の線を引く。この時重要なのは線の順序である。右から引いても左から引いても良いがブレンドツールは引いた順にブレンドされるので下の図の様な順序で引いては行けない。



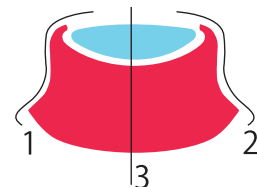
順序に沿って線を引かないと下の図の様にブレンドされてしまう。



とは言え、左の線を引いた後、その線をリフレクトを使って右にコピーし更に中心の線を引いた方が綺麗に出来るのでこの場合は線の順序を入れ替える必要がある。

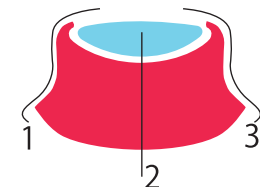


1の線を引きリフレクトツールで反転したい中心を Alt を押しながらクリックし2の位置にコピーした。



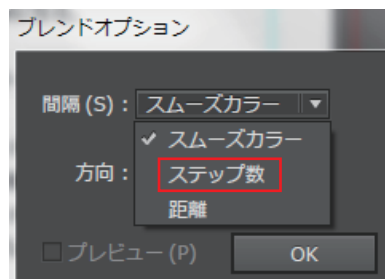
3の位置に直線を引く。

次に線を引いた順序を入れ替える。

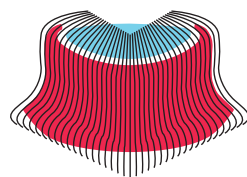


2番の線を選択ツールで選択し
キーボード Shift を押しながら3番を選択する。
マウスボタン右クリックで最前面へ
その後3番の線のみを選択し
同じく右クリックで最前面へとする。
これで線を引いた順序が左から1.2.3 という順序になる。

- 1.2.3の線をキーボード shift を押しながら選択する。
- オブジェクトメニューから
ブレンド→作成を選ぶ
- オブジェクトメニューから
ブレンド ブレンドオプションを選ぶ。



スムーズカラーをステップ数に変更し数値を入力する。
ステップ数とは間に何本の線が入るかである。



ステップ数を16とした
この時プレビューのチェックを入れればブレンドした状況を確認できる。